



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3409 URL http://www.ktbo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 直山 秀人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大杉 幸正 (TEL) 076-277-7530
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	98	△21.6	△8	—	△6	—	9	—
25年3月期第1四半期	125	△4.1	△9	—	△9	—	△8	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 6百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △47百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.76	—
25年3月期第1四半期	△0.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,003	1,097	54.8
25年3月期	2,001	1,091	54.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,097百万円 25年3月期 1,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	200	△22.5	1	—	1	—	16	—	1.30
通期	420	△6.4	10	—	8	—	24	—	1.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期1Q	12,911,000株	25年3月期	12,911,000株
26年3月期1Q	556,793株	25年3月期	556,793株
26年3月期1Q	12,354,207株	25年3月期1Q	12,354,207株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の経済政策『アベノミクス』への期待が続く中、日銀による異次元金融緩和を背景に円高の是正・株高が進んだことから緩やかに持ち直しており、大企業中心に景況感が改善してきております。

国内景気は、個人消費が底堅く生産及び設備投資も上向いているものの、先行きにつきましては、中国・新興国の景気減速など海外景気の下振れリスクによる影響が懸念されております。

繊維景況は、衣料関係では百貨店の衣料品販売が前年比増加となっております。アウトドアスポーツ関係では、国内外ともに在庫調整が進展し円安による輸出採算が大幅に改善し、引き合いも増加してきております。一方、ユニフォーム・ワーキングウェアは在庫調整が解消しきれておらず、用途により強弱があります。資材関係では、エコカー補助金の終了後は低調に推移し、カーテンなどは新規住宅着工件数が堅調にもかかわらず、輸入製品増加により低調となっております。

当社の産業資材分野では、主力商品であるアラミド繊維（高機能難燃繊維）・高強力繊維ともに前期末の在庫調整が長引き、アラミド繊維全体の売上高は前年同四半期に比べ9,986千円減少し、44,332千円となりました。

一般衣料紡績糸もユニフォーム用の在庫調整が長引き、インテリア用についても減少となりました。また、昨年から取り組んでいるインナー用紡績糸は本格生産となりましたが、他用途の減少を補うに至らず、売上高は前年同四半期に比べ17,092千円減少し、53,782千円となりました。

このような状況の中、当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、各素材の需要回復の遅れが影響し、売上高は前年同四半期に比べ27,079千円減少し、98,115千円となりました。営業損失は8,701千円（前年同四半期は9,154千円の営業損失）、経常損失は6,547千円（前年同四半期は9,023千円の経常損失）となりました。特別利益に保有株式の売却による投資有価証券売却益15,271千円を計上した結果、四半期純利益は9,344千円（前年同四半期は8,401千円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ2,129千円（0.1%）増加し、2,003,305千円となりました。この増加の主な要因は、現金及び預金が11,358千円、売掛金及び受取手形が21,361千円、製品が1,581千円増加した一方で、減価償却費の計上等により有形固定資産が10,889千円、保有株式の売却等により投資有価証券が22,064千円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,407千円（0.5%）減少し、905,345千円となりました。この減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が5,694千円増加した一方で、短期借入金が7,020千円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6,536千円（0.6%）増加し、1,097,959千円となりました。保有株式の売却によりその他有価証券評価差額金が2,807千円減少しましたが、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が9,344千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続的に営業損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても8,701千円の営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、高付加価値糸へのシフト化に取り組むとともに、高機能繊維の開発に注力し、業績回復に努めております。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,685	65,044
受取手形及び売掛金	16,759	38,120
製品	9,405	10,987
仕掛品	6,050	6,830
原材料及び貯蔵品	1,325	1,212
その他	8,954	9,344
流動資産合計	96,181	131,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	619,210	612,942
機械装置及び運搬具（純額）	75,536	71,309
土地	858,464	858,464
リース資産（純額）	5,640	5,360
その他（純額）	1,710	1,597
有形固定資産合計	1,560,563	1,549,674
無形固定資産		
リース資産	549	446
ソフトウェア	1,081	976
施設利用権	807	807
無形固定資産合計	2,438	2,230
投資その他の資産		
投資有価証券	331,009	308,945
その他	10,983	10,916
投資その他の資産合計	341,993	319,861
固定資産合計	1,904,994	1,871,766
資産合計	2,001,176	2,003,305

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,963	14,658
短期借入金	547,660	540,640
リース債務	1,610	1,610
未払法人税等	1,187	565
賞与引当金	3,594	1,467
その他	23,127	26,568
流動負債合計	586,142	585,510
固定負債		
リース債務	4,888	4,486
繰延税金負債	50,807	48,547
再評価に係る繰延税金負債	251,294	251,294
退職給付引当金	5,680	4,567
役員退職慰労引当金	10,439	10,439
その他	500	500
固定負債合計	323,610	319,835
負債合計	909,753	905,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,000	714,000
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	△33,736	△24,392
自己株式	△57,352	△57,352
株主資本合計	624,167	633,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,430	16,623
土地再評価差額金	447,824	447,824
その他の包括利益累計額合計	467,255	464,447
純資産合計	1,091,422	1,097,959
負債純資産合計	2,001,176	2,003,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	125,194	98,115
売上原価	105,493	83,313
売上総利益	19,701	14,801
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,595	2,016
役員報酬	4,028	3,135
給料及び手当	9,245	7,331
その他	12,985	11,019
販売費及び一般管理費合計	28,855	23,502
営業損失(△)	△9,154	△8,701
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	3,552	3,822
不動産賃貸料	638	2,254
その他	1,072	816
営業外収益合計	5,266	6,896
営業外費用		
支払利息	4,317	4,154
その他	818	588
営業外費用合計	5,135	4,742
経常損失(△)	△9,023	△6,547
特別利益		
投資有価証券売却益	—	15,271
特別利益合計	—	15,271
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,023	8,723
法人税、住民税及び事業税	127	127
法人税等調整額	△748	△748
法人税等合計	△621	△621
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,401	9,344
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,401	9,344

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,401	9,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,272	△2,807
その他の包括利益合計	△39,272	△2,807
四半期包括利益	△47,674	6,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,674	6,536
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当社グループは、継続的に営業損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても8,701千円の営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、高付加価値糸へのシフト化に取り組むとともに、高機能繊維の開発に注力し、業績回復に努めております。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社及び連結子会社の事業は、紡績糸の生産・販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。